

六歩散一A-TA

たけ 夕夕

の復

宮沢賢治

Miyazawa Kenji

(1896-1933)

- 一、午後の攪業
- 二、活版所
- 三、家
- 四、ケシとウツリ紫の復
- 五、天気輪の柱
- 六、銀河入テ一シヨリ
- 七、北十字とクハシシ海岸
- 八、鳥を捕る
- 九、シヨバルハ切符

銀河鉄道

七、北十字と
クハシシ海岸
二人は一度にはねあがっ
て空を飛び出して改札
口へかけこぎました。

ところが改札口には、明るい紫が
かった電灯が、一つ点いているば
かり、誰も居ませんでした。

そこら中を見ても、駅長や赤帽らしい人の、影も
なかったのです。二人は、停車場の前の、水晶細

くハシシ海岸
二人は一度にはねあがって
空を飛び出して改札
口へかけこぎました。
ところが改札口には、明るい紫
がかった電灯が、一つ点いて
いるばかり、誰も居ません
でした。ところが改札口には、
明るい紫がかった電灯が、一
つ点いているばかり、誰も居
ませんでした。そこら中を見
ても、駅長や赤帽らしい人の、
影もなかったのです。二人は、
停車場の前の、水晶細